

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：Australian National University (オーストラリア)

<p><b>Q. 今回の留学プログラムの感想</b></p>	<p>配属先は内分泌・糖尿病科だったが、行われている医療の内容そのものは日本と大きな違いこそなかったものの、医師をはじめとしたカルチャーの違いを実際に現場で感じることができたのが面白かった。また、日本での学生実習よりも実臨床にかなり近い形での経験を多く積むことができた。コロナ禍で対面の実習が経験できなかった代ということもあるが、慣れない英語を用いながらのカルテ作成、身体診察、あるいはルート確保・採血といった侵襲的手技も含む経験を研修医になる直前にできたことは、だいぶアドバンテージになったと思う。現場で医師として働く上では医学知識だけでなく、臨床現場の経験値・言語・文化理解が求められ、すべてが中途半端な状態で海外に出るのはかなり厳しいことを実感できたことは、今後の進路決定に対して大きな影響を与えてくれた。</p>	<div data-bbox="1398 485 2167 580" style="text-align: center;"> <p>留学中のお気に入りの写真</p> </div> <div data-bbox="1398 599 2466 1247" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1412 1466 1996 1504"> <p>コメント：キャンベラの湖畔はとてもきれいでした。</p> </div>
<p><b>Q. 健康管理や危機管理について</b></p>	<p>オーストラリアは治安がよく、特に怖い思いをしたことはなく無事に実習期間を終えることができた。夏だったので虫刺されに警戒していたが、公園にでも行かない限り問題なかった。車社会なので、徒歩移動がメインになる留学生としては交通安全には気を付けて生活していた。</p>	
<p><b>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</b></p>	<p>医療の内容自体には日本とそれほど大きな差はないので、国試の知識を英語で解釈できさえすればある程度ついていけると思います。手技を積極的にやらせてくれる場合には、日本でなかなかできない経験なのでぜひ前向きに取り組むといいのではないのでしょうか。何より、オーストラリアはGP制度があるのが日本との大きな違いです。せっかくなら留学期間中に一度はクリニックを見学させてもらえるよう、intern（日本でいう研修医）や研修担当の先生、あるいは配属先のSupervisorや、可能であれば自力で行ってみたいGPを探して交渉してみるとよいと思います。事務手続きが発生する可能性がある中で、できれば渡航前から先方に交渉するのがベターです。周囲はのどかな田舎なので、生活環境をうまく整えながら日本とは違う環境を楽しんでください。</p>	
<p><b>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</b></p>	<p>英語のスコアがなかなかクリアできず、マッチング・卒業試験の時期に何度も英語の試験を受ける羽目になって非常に苦しみました。TOEFL以外にIELTS等のスコアも受け付けてもらえる派遣先なので、もっと早く先輩に相談したり別の試験についても調べてみたりすればよかったです。また、留学がしばらく中断されていたため引き継ぎがまったく参考にならない中で国家試験対策と同時並行での諸手続きが本当に大変でした。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：オーストラリア国立大学/ANU(オーストラリア)

<p><b>Q. 今回の留学プログラムの感想</b></p>	<p>初めての留学ということで緊張もありましたが、先生方が日本人生徒を暖かく迎えてくれ、とても安心しました。医科歯科ではあまり馴染みのない救急の外傷部門に所属しました。カンガルーと追突して外傷を負った患者さんや薬物中毒の患者さんなど、日本ではあまり経験できない症例を見ることができました。ルートを取る、など医科歯科の実習では経験していない実技も経験することができました。この経験を活かし、初期研修に望みたいです。</p>	<p style="text-align: center;">留学中のお気に入りの写真</p>  <p>コメント：人生初のルートを経験しました！！</p>
<p><b>Q. 健康管理や危機管理について</b></p>	<p>オーストラリアはマスクの規制が日本よりも緩くなっていたので周りの先生方はあまり着けていませんでしたが、感染して迷惑がか辛いように医療現場ではできる限りつけるように意識していました。慣れない環境での生活なので、あまり夜は出歩かず、生活リズムを保つようにしました。</p>	
<p><b>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</b></p>	<p>オーストラリア(オーストラリア国立大学)への留学はとてもおすすめです。オーストラリアには世界各国から医師が来ていて、アジア圏出身の先生も多く見られました。多国籍な現場であり、日本人に対しても親切に接してくれ、とても居心地が良かったです。先生方はたくさんのことを親切に教えてくれますが、質問などをして熱意を見せることで更に指導をしてください。派遣が決まってからでいいので、医学英語を勉強すると実習の理解度も高まると思います。また、他の診療科を見学したい場合も自分からその診療科の先生に聞くことで、認めてもらえる場合もあります。せっかくの機会なので、一つの診療科だけではなく複数の診療科の見学も良い経験です。</p>	
<p><b>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前など大変や不安だったこと</b></p>	<p>保険などを準備するのに遅れてしまい、直前まで行けることが保証されていなかったため、不安がありました。できるだけ早めの準備をお勧めします。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：オーストラリア国立大学

<p><b>Q. 今回の留学プログラムの感想</b></p>	<p>ひたすら自分の未熟さを痛感する留学でした。外来実習は充実していた一方で、病棟実習は何をしたいかが明確になっていなかったことと語学的な問題によりもどかしい思いをすることが多かったですが、将来的な海外での臨床を考えている自分としては海外の病院で働く上で必要なものと今現在すでに足りているものなどを見つめることができ良い経験になりました。また、世界各地から来ている医師との交流を通して異文化についての理解を得ることもできました。</p>	<p>コメント：</p> A photograph of a young man with short dark hair, wearing a blue button-down shirt, dark pants, and white sneakers. He is standing on a paved area in front of a large, multi-story hospital building. A sign with the word 'EMERGENCY' in red letters is visible on the building. The sky is clear and blue.
<p><b>Q. 健康管理や危機管理について</b></p>	<p>着いた日にsimフリーにしていなかったことに気づいたこと。友達と一緒にいたこと、時差がほとんどないので親に連絡を取れたことでロック解除することができたが、日本出発前に要確認です。</p>	
<p><b>Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ</b></p>	<p>そこまでdemandingな留学先ではないので、学生の間での臨床実習先として良いと思います。また、アメリカなどとは異なり残業があまりなく労働時間が比較的決まっているクリーンな職場でありつつ、臨床留学先として若干マイナーなので、この機会を利用して是非行ってみてください。</p>	
<p><b>Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと</b></p>	<p>急遽留学プログラムが復活することが決まり、発表から応募締め切りまで5日間しかなかったことが大変だった。国試直後だったので英語のブランクが大きかったのが不安でした。</p>	

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先（国名）：オーストラリア国立大学（オーストラリア）

Q. 今回の留学プログラムの感想	国試直後だったこともあり、学生生活における医学知識が最大限に高まっているタイミングで行けたことは良かったと思います。先生方の英語は高速かつ難解で、自分の力不足を痛感しました。英語という言語面及び医学的な知識面、両者においてまだまだやるべきことは多いなと感じた4週間でした。
Q. 健康管理や危機管理について	気をつけてはいたこともあってか、病気や怪我などは特にはありませんでした。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	オーストラリアでもアメリカでも、その他どこでも、日本以外の国の様子を少しでも見ることは勉強になるかと思います。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	特にはありませんでした。

## 留学中のお気に入りの写真



コメント：初日に撮った病院建物の写真です！

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先 (国名) : Keck School of Medicine of USC (アメリカ)

Q. 今回の留学プログラムの感想	1ヶ月の臨床実習を通して米国の臨床現場を体験することができ、大変貴重な経験となりました。人種や政治的背景が全く異なる中で、日本ではなかなか出会えない症例が多くあったことや、病院のシステムの違いを垣間見れたことが印象的でした。また今回の留学中に先生方や現地の学生など多くの方と出会えたことが自分にとってとても大きな財産になったと感じています。医学の話のみならず米国での医学生生活や医師のキャリアについて教えていただき、今後も大切にしていきたい交流を持つことができました。先生方やOSSU、一緒に渡航した同級生をはじめ、多くの方に支えられて今回の臨床実習を実現することができたことに心から感謝申し上げます。
Q. 健康管理や危機管理について	治安が悪い地域であったため、観光地などを除いては少しの移動でも配車サービスを利用していました。夜間は特に出歩かないように注意していました。健康面では睡眠リズムを崩さないように気をつけていました。
Q. 今回の派遣先への留学を希望している先輩たちへのメッセージ	私は低学年の時、留学に関心はあったものの海外臨床実習に対して高い敷居を感じていました。しかし振り返ると、思い切って応募やそのための準備をはじめた時点ですでに多く学びや貴重な経験が始まっていたと感じます。海外留学は多くの人と出会い、知らなかった世界を開拓し、時に人生を変えるような経験にもなるかもしれません。自分の関心のあることに貪欲に、機会を探し続け、皆様が素敵な経験をなさることを願っています。
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	渡航前に最も不安であったのは英語力でした。プログラム開始前に現地の先生方とメールのやり取りをする際も慣れていないことの連続で大変でした。

留学中のお気に入りの写真



コメント：サンタモニカにて。ロサンゼルスはいたるところに椰子の木あります！

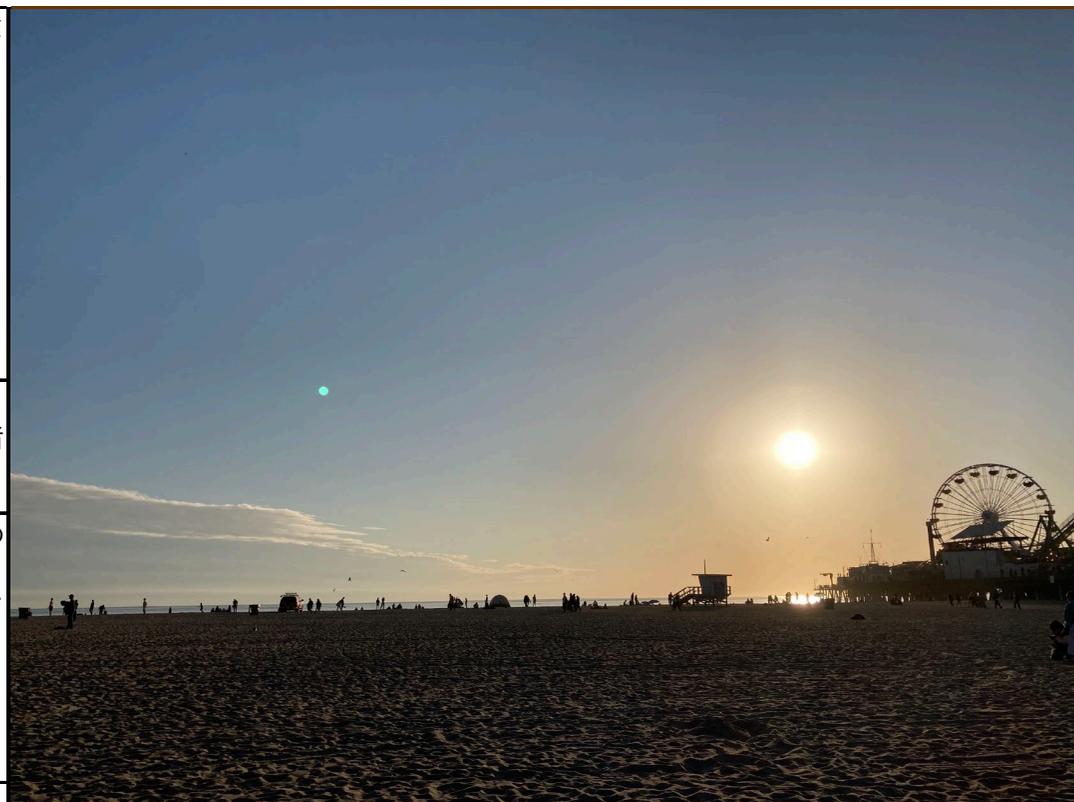
ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同

# TMDU 海外留学 先輩の声



留学/派遣先 (国名) : 南カリフォルニア大学 (アメリカ)

Q. 今回の留学プログラムの感想	<p>銃創や麻薬中毒など日本では経験できない症例をたくさん目の当たりにしました。また、病院に来る患者層もアメリカの社会階層の下位層・中南米からの移民だったので、特有の問題(結核やエンデミックな感染症、HIVなど)もみることができました。</p> <p>自分自身としては、希望していない放射線科での実習にどのようなモチベでいったらいいかわからず、実習自体もゆるく、最初の週はレジデントに昼前には帰らされる生活でした。しかし、推薦状の記載を快諾してもらうという目標をたて、レジデントと積極的にコミュニケーションを取り続けた結果、目標を達成することができました。また、偶然の出会いにも恵まれ、内科や呼吸器集中治療の上級医とも面談・進路相談の機会をいただくことができ、かなり有意義な実習となりました。</p>
Q. 健康管理や危機管理について	<p>観光地は日中は比較的安全でしたが、暗くなってからはハリウッドやグリフィス天文台などでも少し不安を感じました。また、ダウンタウンは日中からホームレスや麻薬中毒者で溢れており、徒歩での移動は極力避けたほうがいいと感じました。</p>
Q. 今回の派遣先への留学を希望している後輩たちへのメッセージ	<p>どの診療科をローテートすることになってもやりたいことや目標をはっきり決め、そのために頑張ればいい実習になると思います！レジデントや周りの学生、アテンディングの先生は全員、やる気とやりたいことをはっきり伝えれば、助けてくれると思います！ロサンゼルスは天気も良く食べ物も美味しく、自然も豊かで文化の交流も盛んな街なので、是非実習だけでなく生活も含めて、色々冒険してやりたいことを突き詰めて、充実した時間をすごすと良いのではないかと思います。美味しい食べ物が多いので体重管理はしたほうがいいかもしれません！</p>
Q. 留学プログラムへの応募前や選考、渡航前などに大変や不安だったこと	<p>治安や交通手段が一番不安でした。特にLAは治安が悪いというイメージがかなり先行していて、実際行ってみると治安は良くありませんでしたが、危ないエリアを避ければ問題ありませんでした。</p>



コメント：夕方のサンタモニカビーチ、2月でも暖かい日は25℃ぐらいでした、、、

ご協力ありがとうございました！今回の海外経験を糧に、これからもがんばってくださいね。  
国際交流課 学生派遣係 一同